



平成29年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年3月2日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド 上場取引所 東
 コード番号 2910 URL http://www.rockfield.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岩田 弘三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊澤 修 TEL 078-435-2800
 四半期報告書提出予定日 平成29年3月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第3四半期の連結業績（平成28年5月1日～平成29年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第3四半期	38,514	1.9	2,425	25.6	2,461	25.8	1,676	35.7
28年4月期第3四半期	37,807	2.1	1,931	29.5	1,957	28.9	1,235	44.4

(注) 包括利益 29年4月期第3四半期 1,721百万円 (45.2%) 28年4月期第3四半期 1,186百万円 (32.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第3四半期	63.12	—
28年4月期第3四半期	46.51	—

(注) 当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年4月期第3四半期	31,080	25,995	83.6	978.74
28年4月期	30,945	24,937	80.6	938.91

(参考) 自己資本 29年4月期第3四半期 25,995百万円 28年4月期 24,937百万円

(注) 当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	18.00	—	32.00	50.00
29年4月期	—	9.00	—	—	—
29年4月期（予想）	—	—	—	16.00	25.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成28年4月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成29年4月期の連結業績予想（平成28年5月1日～平成29年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,777	3.7	2,822	10.8	2,854	10.5	1,721	6.2	64.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年4月期3Q	26,788,748株	28年4月期	26,788,748株
② 期末自己株式数	29年4月期3Q	228,688株	28年4月期	228,490株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年4月期3Q	26,560,118株	28年4月期3Q	26,560,571株

(注) 当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年5月1日～平成29年1月31日）におけるわが国経済は、政府や日銀の経済政策及び金融政策による雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続き、個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「The Mirai Salad Company」を目指し、お客様にご満足いただける売場づくりに継続して取り組んでまいりました。

野菜の価格高騰により、引き続きサラダが多くのお客様に支持されるとともに、繁忙期であるクリスマスや年末年始には、ハレの日のニーズに合致した付加価値の高い商品を品揃えたことと、商品価値をしっかりとお伝えしたことがお客様から高い支持をいただき、合わせて事前予約による注文が大きく伸びたことが、好調な売上高に繋がりました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		平成28年4月期 第3四半期（連結）		平成29年4月期 第3四半期（連結）		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
R F 1	サラダ	百万円 15,031	% 39.8	百万円 14,837	% 38.5	% 98.7
	フライ	5,982	15.8	5,632	14.6	94.1
	その他そうざい	5,098	13.5	5,595	14.5	109.7
	小計	26,112	69.1	26,065	67.6	99.8
グリーン・グルメ		4,306	11.4	5,066	13.2	117.6
いとはん		2,929	7.7	2,856	7.4	97.5
神戸コロッケ		2,105	5.6	2,153	5.6	102.3
ベジテリア		1,184	3.1	1,186	3.1	100.2
融合		846	2.2	921	2.4	108.9
その他		322	0.9	264	0.7	82.2
合計		37,807	100.0	38,514	100.0	101.9

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「R F 1」ブランドにおきましては、「食と健康」をテーマに、サラダを中心とした健康的な食生活・食習慣の提案として、ヘルシーマガジンの発行など広く健康情報を発信いたしました。また、クリスマス・年末年始には、生ハムやローストビーフ、ロブスターといった素材を使用したごちそうメニューを提案したことで多くのお客様に支持されました。1月には、毎年ご好評をいただいている京野菜を使用したサラダの展開を行いました。その結果、売上高は26,065百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

「グリーン・グルメ」ブランドにおきましては、セレクトショップとしてR F 1ブランドのサラダを中心とした品揃えに、いとはん、融合の商品を導入し継続して買い合わせを強化するとともに、時間帯に合わせて限定商品の強化販売の取り組みをすることで客数と客単価の増加に繋がりました。また、第43期より進めておりますR F 1からグリーン・グルメへの業態変更の影響により、売上高494百万円がR F 1からグリーン・グルメの売上高となりました。その結果、売上高は5,066百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

「いとはん」ブランドにおきましては、「一汁二菜プラス和さらだ」という現代版の一汁三菜の考え方を取り入れた食卓を継続して提案するとともに、長崎県産天然ぶりや菜の花など季節感のある素材を使用した商品を積極的に展開いたしました。また、年末年始には和菜で祝う初春の膳をテーマにおせちと祝いサラダのセットやごちそうオードブルなどの商品が好調に推移しました。その結果、売上高は2,856百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、コロッケの新しい食べ方として、冬の寒い時期に合わせて「あつあつソースで食べるコロッケ」を提案しました。また、冬野菜販促として徳島県産れんこん、下仁田ねぎなど「食と健康」をテーマに旬の素材を使用したコロッケの展開を行いました。その結果、売上高は2,153百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、「KENKOサービス・野菜習慣」をテーマに、定番野菜ジュースに生姜やウコン、シールド乳酸菌®を加えた新しいジュースや、旬素材の販促として冬野菜など野菜のチカラを活かしたジュースの強化に取り組みました。その結果、売上高は1,186百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

「融合」ブランドにおきましては、アジア料理独特の調味料やスパイス&ハーブを感じるメニューを特集するなど、アジア料理と健康に関する情報発信に継続して取り組みました。また、パクチーやくらげを使用したサラダや定番商品の酢豚やエビチリなどの料理メニューが好調に推移しました。その結果、売上高は921百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は38,514百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は2,425百万円（前年同期比25.6%増）、経常利益は2,461百万円（前年同期比25.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,676百万円（前年同期比35.7%増）となりました。

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて135百万円増加し、31,080百万円となりました。これは主に、売掛金の増加265百万円、原材料及び貯蔵品の減少132百万円、繰延税金資産の減少135百万円、リース資産の増加132百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて921百万円減少し、5,085百万円となりました。これは主に、買掛金の減少161百万円、未払法人税等の減少389百万円、賞与引当金の減少306百万円等によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて1,057百万円増加し、25,995百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は83.6%、1株当たり純資産額は978円74銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月9日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

ただし、事業環境の変化等による今後の業績予想に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,777	11,797
売掛金	4,171	4,436
製品	67	58
仕掛品	77	92
原材料及び貯蔵品	481	348
その他	520	400
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	17,096	17,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,927	6,803
土地	2,948	2,948
その他(純額)	1,920	2,248
有形固定資産合計	11,795	11,999
無形固定資産		
その他	357	269
無形固定資産合計	357	269
投資その他の資産		
その他	1,705	1,688
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,695	1,678
固定資産合計	13,848	13,947
資産合計	30,945	31,080
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,224	1,063
1年内返済予定の長期借入金	78	6
未払法人税等	700	311
賞与引当金	663	356
その他	2,901	2,689
流動負債合計	5,568	4,426
固定負債		
長期借入金	9	119
その他	429	539
固定負債合計	438	658
負債合計	6,007	5,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	13,643	14,655
自己株式	△210	△211
株主資本合計	24,837	25,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	88
為替換算調整勘定	62	57
その他の包括利益累計額合計	99	145
純資産合計	24,937	25,995
負債純資産合計	30,945	31,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日)
売上高	37,807	38,514
売上原価	15,794	15,726
売上総利益	22,012	22,787
販売費及び一般管理費	20,081	20,362
営業利益	1,931	2,425
営業外収益		
受取配当金	6	7
保険配当金	1	12
為替差益	2	1
その他	17	16
営業外収益合計	29	38
営業外費用		
その他	3	2
営業外費用合計	3	2
経常利益	1,957	2,461
特別損失		
固定資産除却損	9	—
役員退職功労金	20	—
特別損失合計	29	—
税金等調整前四半期純利益	1,928	2,461
法人税等	692	784
四半期純利益	1,235	1,676
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,235	1,676

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成28年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日)
四半期純利益	1,235	1,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	50
為替換算調整勘定	△5	△4
その他の包括利益合計	△49	45
四半期包括利益	1,186	1,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,186	1,721
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。